

当院における非乳頭部十二指腸表在性腫瘍に対する診療の現状

1. 研究の対象：

当院において非乳頭部十二指腸表在性腫瘍と診断された患者さんを対象としています。

2. 研究の概要・意義：

十二指腸における内視鏡治療は偶発症のリスクが高いことから、当院では非乳頭部十二指腸表在性腫瘍に対して従来は経過観察の方針とすることが多かったです。しかし、生検鉗子による切除(Cold forceps polypectomy：CFP)、浸水法による内視鏡的粘膜切除術(Underwater EMR：UEMR)のような安全性の高い治療法が出現したことで、近年では積極的に内視鏡的切除を行うようになりました。この数年では6mm以下の腺腫はCFP、7-20mmはUEMRまたは内視鏡的粘膜切除術(EMR)、他疾患等で治療リスクが高い場合には経過観察、サイズが大きくなり内視鏡治療ができない場合には手術を行っています。

この研究で非乳頭部十二指腸表在性腫瘍に対する診療の現状を明らかにできれば、適切な治療方針選択に寄与できる可能性があります。

3. 研究の目的・方法：

非乳頭部十二指腸表在性腫瘍と診断された患者さんを対象に、カルテなどから臨床情報を収集し解析を行います。

4. 用いる試料・情報の種類：

診療録から性別、年齢、画像データ、病理組織学的所見、治療経過等の情報を収集しますので、新たに試料の採取は行いません。

5. 外部への資料・情報の提供・公表：

データは、特定の関係者以外がアクセスできない状態で保管・管理します。この研究の解析結果は、専門学会への発表、論文化を通じ公表されます。

7. 問い合わせ先：

本研究に関する質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

連絡先

筑木 隆雄

姫路赤十字病院 内科

〒670-8540 兵庫県姫路市下手野 1-12-1

TEL 079-294-2251

FAX 079-296-4050

E-mail: tsuzuo@gmail.com